

平成28年度決算に係る

定期監査
決算審査
調査書

平成29年8月

教育委員会高等学校課

〔組織改正に伴い一部業務を引き継いだ機関〕
教育委員会教育人材開発課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	2
4	職員の定員、現員調べ	2
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	3
7	決算調書(総括表)	12
8	事業別実施状況調べ	13
9	予備費の充用調べ	23
10	繰越関係調べ	23
	(1) 継続費逐次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	24
12	収入事務処理状況調べ	25
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	29
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	29
15	税外収入不納欠損額調べ	29
16	債務負担行為の状況調べ	30
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	31
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
18	工事請負費調べ	37
18-2	工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	37
19	財産に関する調べ	37
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	40
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	
21	借受不動産明細調べ	40
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	40
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	

23	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	40
24	寄附物件の受納状況調べ	40
25	備品の処分状況調べ.....	41
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	41
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
27	貸付金等状況調べ	41
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
28	職員旅費の執行状況調べ.....	42
	(1) 旅行伺の事前承認	
	(2) 旅費概算払の精算等	
	(3) 旅費の計算	
	(4) 旅費の適正執行の取組状況等	
○	意見、要望等.....	43

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

監査意見	処理状況等
<p>知事部局への教職員派遣とその成果の活用等について</p> <p>教育委員会では、知事部局からの要請を受けて、福祉相談センターや児童相談所などへ教職員を派遣し、教育現場と福祉保健部を始めとする知事部局の業務との連携を図っているところである。こうした知事部局で業務に従事した教職員については、教育の現場に復帰したときに、派遣により培ったキャリアを学校経営や地域、関係機関との連携などに大いに発揮できる貴重な人材として期待される場所である。</p> <p>しかしながら、現状では、こうした知事部局への教職員派遣の成果は、主に復帰先である学校内にとどまる傾向にあることから、派遣で得られる成果の状況等に応じて、貴重な経験をより幅広く活かす方策を検討していくことも必要と考える。</p> <p>については、知事部局へ派遣される教職員については、あらかじめ資質向上等の目的を明確にするとともに、復帰後の配置先や培った成果を広く活用する方策など教育現場の改善や資質向上につながる有効な還元方策について検討されたい。</p>	<p>・県教育委員会から知事部局へ教員を異動させる際の基本的な考え方としては、知事部局からの要請を受けて、知事部局の該当所属において、教員の専門性などが求められるポストに対して、教員を異動しているものである。</p> <p>・平成28年6月に作成した「教員のキャリアデザインの手引き」において、大学や国の機関、社会教育施設等への研修・派遣とあわせて、県教育委員会事務局や知事部局等での行政経験についても、教職資質の充実を、その目的として明確に位置づけているところであり、今後もこの「手引き」等をもとに、教員自らがキャリアデザインを描き、めざす将来像に向かって、主体的に教育実践やキャリアアップが図られるよう取り組んでいきたい。</p> <p>・また、教員が知事部局へ異動する際の基本的な異動ルートは「学校⇒知事部局⇒学校」となるが、本人の意欲、適性等を踏まえながら「学校⇒知事部局⇒県教委事務局⇒学校」などのルートでの異動を行うなどして、教員が培った経験を最大限に活かすことができ、かつ教育現場に有効に還元することができるよう努めているところであるが、今後も適材適所の配置を行いつつ、教員が知事部局における行政経験で培った成果をより有効かつより広く教育現場で活用することのできる配置を行っていきたい。</p> <p>・なお、平成28年度末人事異動においては、知事部局へ派遣していた教職員のうち、全て(2名)を県教育委員会事務局へ配置した。</p>

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
高等学校課	学事担当	県立高等学校の授業料に関すること。 高等学校等就学支援金に関すること。
	管理担当 H29.4.1 組織改正により教育 人材開発課へ移管	県立高等学校の設置、廃止及び管理に関すること。 県立高等学校の教職員の定数及び任免その他の人事に関すること。 県立高等学校の教職員の組織する職員団体に関すること。
	指導担当	県立高等学校の教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関する こと。 県立高等学校の入学選抜に関すること。 県立高等学校の教科用図書及び教材の取扱いに関すること。 高等学校卒業程度認定試験に関すること。
	高校教育企画室	今後の県立高等学校の在り方に関すること。 学力向上に関すること。
	英語教育推進室	外国語の教科指導に関すること。 国際理解教育及び国際交流に関すること。 海外留学支援に関すること。 外国語指導助手に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	29.4.1 現在	28.4.1 現在	29.4.1 現在	28.4.1 現在	29.4.1 現在	28.4.1 現在	29.4.1 現在	28.4.1 現在	
定員	19	26					19	26	・H29.4.1組織改正により教育人材開発課に 5名異動
現員	(3)	(1)	()	()	()	()	(3)	(1)	・主事1名休職 H26.11.9～ ・主事1名育休H28.4.7～H30.3.31 ・管理主事1名H29.4.1～文部科学省へ派遣
	22	27					22	27	・H29.4.1組織改正により教育人材開発課に 5名異動
過不足(△)	3	1	0	0	0	0	3	1	・主事1名休職、主事1名育休、管理主事1 名派遣により定数外
臨時職員	0	0					0	0	
非常勤職員	5	5					5	5	・一般事務(2名) ・事務補助(1名) ・キャリアプランニングスーパーバイザー(1 名) ・ALT支援職員(1名)

5 役付職員の調べ

(平成29年8月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
高等学校課長	徳田 章人	0	4	1年4か月
高校教育主査兼高校教育企画室長	國岡 進	0	4	
課長補佐	津村 英樹	0	4	

事業名	決算額	財源内訳										
		国庫支出金	その他	一般財源								
アクティブ・ラーニング推進事業～21世紀型能力を育む次世代授業の創造～	3,310			3,310								
将来ビジョン	VI 育む (2)「人材・鳥取」の推進											
政策項目	⑬英語教育やアクティブ・ラーニングはじめ学力向上対策											
ア 目的及び事業の実施状況												
(ア) 目的												
21世紀型能力を育む授業改革を推進するため、校種を超えた連携教育の研究を進めるとともに、最新の知見を取り入れた学習科学に基づく授業を設計・実践・公開し、授業改革の全県的な普及を図るなど、文部科学省が進めている高大接続改革を見据えた対応を行う。												
(イ) 事業の実施状況												
①21世紀型学力検討委員会の設置												
今後の社会で必要とされる能力を育成するための具体的な授業改革など、文部科学省が進めている高大接続改革への組織的な対応を行うため、高等学校長で組織する委員会等を設置し、検討を行った。												
・「21世紀型学力検討委員会」(高校校長(7名)で構成)の設置(平成28年6月設置)												
今後の社会で必要とされる能力を育成するための具体的な授業改革や教育課程の検討。												
・アクティブ・ラーニング(※)研究ワーキンググループ(高校教員等12名で構成)の設置(平成29年2月設置)												
これまで進めてきた取組の検証を行うとともに、全県的な授業改革の推進、普及に向けた各種研修・事業の体系化等を検討。												
②21世紀型能力を育むための講師派遣												
校種間連携(新スクラム教育)による学力向上策について研究するとともに、高等学校におけるアクティブ・ラーニング型授業への改革に係る基盤を育成するため、必要に応じて適切な研究者を講師として派遣した。												
※教師主導の一斉講義形式の授業ではなく、学習者の能動的な授業への参加形態を取り入れた教授・学習法の総称												
【対象校】												
・アクティブ・ラーニング型授業への改革 → 全県立高等学校24校												
・新スクラム教育 → 中心となる県立高等学校6校(6ツリー)												
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>◎鳥取東高(鳥取東中:英語)</td> <td>◎八頭高(八頭中、郡家西小:数学)</td> </tr> <tr> <td>◎倉吉東高(倉吉東中、河北中:英語)</td> <td>◎倉吉西高(倉吉西中、久米中、上小鴨小:数学)</td> </tr> <tr> <td>◎米子東高(溝口中、岸本中、日南中:英語)</td> <td>◎境高(境港総合技術高、境港市内全小中学校:英語)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※◎:中心となる県立高校 ()内:連携する中・小学校及び連携する教科</td> </tr> </table>					◎鳥取東高(鳥取東中:英語)	◎八頭高(八頭中、郡家西小:数学)	◎倉吉東高(倉吉東中、河北中:英語)	◎倉吉西高(倉吉西中、久米中、上小鴨小:数学)	◎米子東高(溝口中、岸本中、日南中:英語)	◎境高(境港総合技術高、境港市内全小中学校:英語)	※◎:中心となる県立高校 ()内:連携する中・小学校及び連携する教科	
◎鳥取東高(鳥取東中:英語)	◎八頭高(八頭中、郡家西小:数学)											
◎倉吉東高(倉吉東中、河北中:英語)	◎倉吉西高(倉吉西中、久米中、上小鴨小:数学)											
◎米子東高(溝口中、岸本中、日南中:英語)	◎境高(境港総合技術高、境港市内全小中学校:英語)											
※◎:中心となる県立高校 ()内:連携する中・小学校及び連携する教科												
イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点												
講師派遣について、従前設定していた1校当たりの上限額をなくすなど、より事業目的に合致した多くの事業を採択し、各校の授業改革推進を支援した。												
ウ 成果												
・国の高大接続改革の動きに、速やかに対応できる体制を整備することができた。												
(平成29年5月16日に文部科学省が現時点での進捗状況を公表した後、6月7日に速やかに「21世紀型学力検討委員会」を開催し、現場視点からの今後の課題等を抽出することができた。)												
・講師派遣(アクティブ・ラーニング型授業改革)を活用した学校は16校と、平成27年度の11校から増加し、大学教授や県外先進校教員を招聘して新たな手法の学習やこれまでの取組の評価を行うなど、各校の実態に応じた授業改革の推進を支援することができた。												
※本事業を活用していない学校も、取組を全県に発表、普及する「学びの文化祭」(鳥取湖陵高校・米子高校)や学校独自事業を活用して、授業改革の取組を推進。												
・講師派遣(新スクラム教育)を活用して、大学教授を招いた授業分析やワークショップ等を実施するなど内容を深め、「校種を超えた学びと指導の連続性」を主テーマとした鳥取県教育研究大会(幼保小中校全ての校種が参加)において、取組発表を行うなど、その成果を全県に普及することができた。												
エ 課題												
・平成32年度から導入される「大学入学共通テスト(仮称)」の詳細など、未だ明らかにされていない部分も多く、引き続き、国の動向を注視しつつ、新テストを受験する生徒や学校現場が混乱しないよう、組織的な対応を進めていくことが必要である。												
・こうした状況ではあるが、まずは、このたびの高大接続改革の目的の1つである「学力の3要素」(※)を生徒に身に付けさせるべく、平成24年度から取り組んでいる「アクティブ・ラーニング型」の授業改革を一層推進していくことが必要である。												
※①十分な知識・技能、②思考力・判断力・表現力等③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度												

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
小学校英語パワーアップ事業～拠点小学校を中心とする英語教育強化事業～	16,985		53	16,932
将来ビジョン	VI 育む (2)「人材・鳥取」の推進			
政策項目	なし			
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
次期学習指導要領(平成32年度実施)に基づく英語教育の先行実施(平成30年度から可)を予定している小学校5校を指定して外国語指導助手(ALT)を配置し、教員の英語力・指導力と児童の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、指導計画の作成等をとおして、県内小学校への次期学習指導要領に基づく英語教育の円滑な導入に資する。				
(イ) 事業の実施状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・事業校5校(福部未来学園小学校、青谷小学校、倉吉西郷小学校、小鴨小学校、外江小学校)の指定(5月) ・第1回連絡協議会(7月)…ALT受入れ手続きやサービスの管理について説明、各学校事業計画について情報交換 ・事業校へのALTの配置(8月) ・第2回連絡協議会(9月)…各学校の取組について情報交換、事業校を会場としたALT1日体験研修を合わせて実施 ・第3回連絡協議会(2月)…各学校の取組の報告、次年度事業計画について説明 ・報告書の提出(3月) 				
パワーアップ校の取組				
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動の授業はもちろん、それ以外の授業や行事等にALTを参加させ、児童が英語に触れる機会を増やした。 ・ALTとの授業の打ち合せや教材作成等を通して、協同的な授業づくりを行った。 ・ALTによるクラスルームイングリッシュや英語でのアクティビティの研修を行った。 				
イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
<ul style="list-style-type: none"> ・各学校でのALT受入れがスムーズに行われるよう、連絡協議会で事前の説明を丁寧に行った。 ・配置したALT5名の内、これまでに県内の小学校で指導経験のあるALTを先輩ALTとして、体験研修を行った。 ・小学校英語教科化の先行実施への対応や、ALT活用の工夫について、情報の提供と共有を図った。 				
ウ 成果				
<ul style="list-style-type: none"> ・事業校において、児童が英語に触れる機会が増え、英語学習への意欲が高まった。 ・ALTを活用した教材作成や校内研修等が実施された。 ・近隣の学校へのALT訪問を通して、小小連携が図られるようになった。 				
エ 課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・中には英語の学習に自信がない児童もいるので、一人一人に寄り添う指導を心掛ける。 ・英語の授業に対する教員の抵抗感は軽減されたが、指導力や英語力の向上を実感するところまで至っていない。 				

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
グローバル・リーダーズキャンパス	8,054			8,054

将来ビジョン	VI 育む (2)「人材・鳥取」の推進
--------	---------------------

政策項目	なし
------	----

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

世界トップクラスの海外大学と共同連携し、県内高校生向けの遠隔講座を開設することにより、幅広い国際感覚を身につけ、世界を視野に入れて活躍する高い意欲と志を持った人材の育成を図る。

※共同連携先: 米国スタンフォード大学

(イ) 事業の実施状況

(1)参加生徒 県内8校から35名の生徒が参加

(2)講師 スタンフォード大学教員、講座のテーマに造詣の深い専門家等

(3)講座テーマ

アメリカ留学、日系アメリカ人の体験、野球を通じた外交、シリコンバレーと起業家精神、ハワイ、第二次世界大戦、日本で育ったアメリカ人、の計7テーマ

(4)テーマごとの講座の流れ

①テーマに関する講義のビデオを視聴し、指示されたテキストを読む。

②テキストの内容に関する指導者からの質問に対し、受講生は自分の考えを英語でまとめ、期限までに電子掲示板宛に投稿→期限後、投稿された様々な意見が受講生に公開される→受講生は興味関心ある意見を投稿した他の受講生に自分の意見を英語で返したり質問したりしてウェブ上で意見交換を重ねる

③ネット上のライブ授業で、単元を担当する講師と受講生とが、互いに顔を見ながらリアルタイムで英語によるディスカッション等を行う。

(5)年間実施状況

・7月にスタンフォード大学関係者参加のもと開講式を実施。

・9月に講座オリエンテーションを実施。

・10月から2月にかけて7つのテーマの講座を実施。

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

・米国の大学が提供するプログラムであるため、自主的、主体的な受講姿勢を促すよう助言を行った。

・インターネットを介した遠隔講座であるため、ネット接続やテキストの送受信、ライブ授業への参加方法等について、サポートを行った。

ウ 成果

(1)他県に先駆けて、スタンフォード大学と単独契約して、高校生向け遠隔プログラムを立ち上げることができ、一定数の高校から生徒の参加があった。

(2)グローバル人材育成の観点から、英語で思考・判断・表現する力を養うプログラムとして有効であることが確認できた。

・生徒アンケートによると、英語を聴いて理解する力、英語を読んで理解する力、英語を書く力が向上したと回答する生徒が多かった。

・将来留学してみたいかとの問いには、「はい」と答えた生徒が多かった(64.2%)。

エ 課題

(1)参加生徒の英語力や思考力、表現力の差があり、課題の難易度の設定や議論を発展させることが難しかった。

(2)講座開始が年度中途からとなったため、一つ一つのテーマの間隔が短く、事前課題の連絡の遅れ等から、受講生にとっては余裕のない受講スケジュールとなってしまった。

(3)受講の様子を公開したり、積極的に広報活動を行ったりするなどして、参加者の裾野を広げる取組が不足していた。

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取県版キャリア教育推進事業	8,998	1,271	15	7,712

将来ビジョン VI 育む (2)「人材・鳥取」の推進

政策項目 なし

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

生徒一人ひとりが、将来、社会的に自立していくために、必要かつ基盤となる能力や態度を育てるためのキャリア教育を全ての県立高校で実施し、夢や希望に向かって果敢にチャレンジし、将来の日本や鳥取県に貢献する気概のある生徒を育成する。

(イ) 事業の実施状況

(1) 県キャリア教育推進会議

【委員会】

	期 日	内 容
第1回	平成28年10月14日(金)	○報告 ・平成28年度高等学校課事業 ・平成27年度までの取組及びワーキンググループ会議の報告 ○議事 ・ワーキンググループ会議の提言について
第2回	平成29年2月21日(火)	○報告 ・平成28年度高等学校課事業 ・各校の今年度の取組、成果と課題及び来年度の取組 ・第3回ワーキンググループの会議の報告 ○議事 ・ワーキンググループ会議の提言について

【ワーキンググループ会議】

	期 日	内 容
第1回	平成28年6月20日(月)	○報告 ・昨年度までのキャリア教育の取組状況について ・本年度のキャリア教育の取組について ○協議 ・キャリア教育全体計画の実質化について ・学校から外に出て活動する事業について ・見取り、効果測定方法について
第2回	平成28年8月26日(金)	○協議 全体計画の実質化について ・具体的な方策(改善策・運用方針)について ・次回の全体計画作成の時期・間隔とプロセスについて ・学校から外に出て活動する事業について
第3回	平成28年12月19日(月)	○協議 ・全体計画の実質化について ・本会議に向けて

【キャリア教育指導者研修会】

日 時	参加者	内 容
平成28年5月13日(金)	各県立高等学校管理職及び キャリア教育担当者	○発表 内容:「高等学校におけるキャリア教育の進め方」 発表者:米子西高等学校 主幹教諭 鳥羽 道仁 ○講演 内容:「高等学校におけるキャリア教育の進め方」 講師:法政大学 総長室付大学評価室長 児美川 孝一郎 教授

(2) 地域と学校のネットワーク会議

- ・専門高校8校9部会実施

(3) キャリア塾

- ・「ようこそ高校へ」版:全県立高校24校、108事業実施
→地元企業等で活躍している卒業生を学校に招いて、講演・演習等を行った。
- ・「教えて先輩」版:県立高校(普通科)4校、5事業実施
→卒業生が勤務する県内、県外企業等を生徒が訪問して、講演・見学等を行った。

(4) 「キャリアプランニングスーパーバイザー」配置

- ・各学校の体系的な計画の作成と、早期離職者に対する原因分析の支援
→体系的なキャリア教育全体計画:全県立高校24校で策定
- ・キャリア教育関連講師人材の集約、就職支援相談員(キャリアアドバイザー)との連携

(5) 「キャリア教育推進協力企業」認定制度

- ・高等学校におけるキャリア教育の充実に向けて、鳥取県キャリア教育推進協力企業と鳥取県教育委員会が協定を結び、各県立高等学校の取組を支援することで鳥取県のキャリア教育の一層の推進を図ることを目的とした制度。
- ・主に県内において事業活動を行う企業のうち、次の認定要件を一つ以上満たす企業
(認定要件)「職業体験の受入」、「高等学校への講師の派遣」、「出前授業等」、「イベントの実施」、
「教材等を高等学校課へ提供」、「鳥取県産業教育振興会会員企業」
- ・平成29年3月末144社認定

イ 平成28度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・各高校において、キャリア教育の体系的な計画が作成されておらず、ひとつ一つの活動につながりがなく単発的なイベントで終わっていたため、全体計画を策定し、キャリア教育の各事業の目的を教員間及び生徒・保護者で共有した。
- ・高校におけるキャリア教育について、教員だけで指導する方法が大半であったが、地域の社会人、卒業生、就労支援諸機関、NPO団体等との協力・協同をすすめ、地域や社会とのつながりや連携を強化した。
- ・地域と学校のネットワーク会議の開催やキャリア教育推進協力企業制度の創設により、学校側、企業側が身につけたい力を共有し、インターンシップをキャリア形成につながる活動へ変換するとともに、学校と企業が相互に受発信を行う機会を増やし、キャリア教育活動が卒業後も社会と切り離されることなく、郷土愛、起業家精神、グローバルな視野を持つ人材の育成につなげた。

ウ 成果

- ・県立高校24校のキャリア教育全体計画作成の趣旨、作成手順等を学校の管理職及び指導者研修会で説明することで各校の活動の整理・見直しに役立てた。
- ・キャリア教育に関する校内研修及び普通科高校における企業見学を実施する学校が少しずつ増加するとともに、校内にキャリア教育を担当する分掌・組織を明確に位置づけたり、校外の諸機関と連携し、新たな組織を設置する学校が増加している。
- ・キャリア教育推進協力企業制度の創設により、鳥取県内でキャリア教育を推進する動きを産業界にPRできたとともに、学校に協力企業の情報提供を行うことができた。
- ・学力の向上に関するアンケートにおける指標のポイントが向上
「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」…H25年度53.9% → H28年度59.9%
「ボランティア活動に参加し、社会に貢献している」…H25年度23.0% → H28年度29.1%
「将来は、今住んでいる地域や鳥取県で働きたい」…H25年度50.1% → H28年度49.6%
- ・就職希望者の一次応募時点の内定率が81.9%と高く、マッチングが適切に行えたことにより、早期離職の防止につながっている。(年度末時点の内定率は、99.6%と前年に続き高水準)

エ 課題

- ・地域の産業界や中学校等に対し、高校でのキャリア教育活動の発信が不足しているため、策定したキャリア教育全体計画を有効に活用して啓発していく必要がある。
- ・生徒の地域産業に対する理解を深めるため、生徒だけでなく教職員についても地域産業を知る機会を増やすとともに、インターンシップや講演等のさらなる充実が必要である。
- ・生徒一人ひとりの社会的自立のため、自己肯定感、自己有用感を育成するための取組の質を高めることが必要である。

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
自己理解・他者理解アプローチ事業	2,294			2,294

将来ビジョン	VI 育む (2)「人材・鳥取」の推進
--------	---------------------

政策項目	なし
------	----

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

県立高校3校を特別な支援を必要とする生徒を支援していくための「リーダー校」とし、「高等学校特別支援コーディネーター」を配置して、障がい等のある生徒への指導・支援の充実を図る。また、リーダー校以外の21校を「アプローチ校」として、リーダー校等の助言を受け、当該校特別支援教育担当者を核として支援の充実を図る。

(イ) 事業の実施状況

(1) リーダー校とアプローチ校の連携

- ・リーダー校の特別支援教育担当者を特別支援コーディネーターに指名し、それぞれ東・中・西部の地区を担当し、自校の効果的な取組等の発信や発達障がい拠点(特別支援学校)と連携してアプローチ校へ助言等を実施
- ・リーダー校において、特別支援教育に関する授業研究会を開催
- ・アプローチ校は、リーダー校の助言等を受けながら取り組むと同時に、校内支援体制の充実を図った。
リーダー校:青谷高校、米子白鳳高校、境港総合技術高校
アプローチ校:他の県立高校

(2) 自己理解・他者理解のための生徒対象研修

- ・リーダー校において、大学教員や有識者等による講演会(生徒、保護者、教職員対象)を開催するとともに、生徒が特別支援学校を訪問し、交流を進めた。
【青谷高校】
→白兔養護学校を訪問。授業見学や、一緒に作業をするなどの交流授業を行った。

(3) 自立力アッププロジェクト(自立活動等の研究)

- ・特別支援コーディネーターが自立活動や通級に類する指導に関する先進地を視察
【青谷高校】→岡山県立御津高校、島根県立邇摩高校
【倉吉総合産業高校】→徳島県立海部高校
【境高校】→京都府立朱雀高校、大阪府立松原高校
- ・関係機関との情報交換会を実施し、ネットワークを構築
(主な関係機関)各地区障害者就業・生活支援センター、鳥取県立精神保健福祉センター、
『エール』鳥取県発達障がい者支援センター、国立病院機構鳥取医療センター、
鳥取県立総合療育センター、鳥取障害者職業センター、ハローワーク鳥取、
とっとり若者仕事プラザ、とっとり若者サポートステーション、
鳥取県立産業人財育成センター
- ・特別支援教育に関する図書購入

(4) 鳥取県高等学校特別支援教育研修

- ・各校の特別支援教育担当者が参加し、特別支援コーディネーター等との意見交換会を実施

(5) コーディネーター及び研修派遣者等フォローアップ研修

- ・コーディネーターや内地留学研修(鳥取大学地域学部、島根大学大学院)により発達障がい等に関する専門性を高めた教員(過去5年間に派遣した者)等を対象とする情報交換や支援に係る研究協議等(年2回/隔年実施:平成27年度は未実施)

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・教職員主体の研修等から生徒を主体とする講演会や研修、自立力アップにつながる取組等を中心に展開した。
- ・特別支援教育担当者が校内支援の核となり、校内の関係分掌との連携を密にとるようにした。
- ・研修派遣者等のフォローアップを兼ね、特別支援コーディネーターとの連絡協議会を開催した。

ウ 成果

- ・リーダー校を中心として、障がいのある生徒の自己理解、他の生徒の他者理解が進みつつある。
- ・各校で教室のユニバーサルデザイン化が浸透してきており、授業開始時に本時目標が生徒に伝わりつつある。
→本時の目標を板書するなどして、明確に示す。ホワイトボードに掲示や連絡用の板書をせず、授業の内容だけが視覚に入るようにする。
- ・講演等により、発達障がいの特性等に対する教職員の理解が深まり、課題等の提出が遅れる生徒の背景を探りながらの生徒指導が浸透しつつある。
- ・関係機関との情報交換会等を通じて、双方の現状理解が進み、関係機関とのネットワークがより太く強固なものとなってきている。
- ・特別支援コーディネーターの先進地訪問により、高等学校における通級指導の在り方に関する情報収集ができた。

エ 課題

- ・リーダー校での取組成果をアプローチ校(21校)に普及するため、リーダー校の特別支援コーディネーターの活動やアプローチ校における取組強化のための支援(予算措置、研修会の開催、情報提供など)が必要である。
- ・生徒本人及び保護者の障がいに対する受容を進めるため、校内及び関係機関との連携をより一層密にする必要がある。
- ・円滑な支援体制を構築するため、進学先や就職先への引継を推進していくとともに、高等学校における通級による指導の具体策について検討をすすめていく必要がある。
→通級による指導とは、発達障がい等のある生徒に対して、障がいの状態等に応じた特別の指導を行う教育形態であり、通常の学級に在籍して、ほとんどの授業をその学級で受けながら、一部の授業の時間に特別な指導を行うもの。

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
高等学校改革推進事業	134			134
将来ビジョン	VI 育む (2)「人材・鳥取」の推進			
政策項目	なし			

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

平成24年度に策定した基本方針に基づき、平成30年度までに必要な学級減等について検討を行う。また、平成31年度以降も生徒数が減少することが予想されることから、平成31年度以降の県立高等学校の在り方についても併せて検討を行う。

(イ) 事業の実施状況

(1)平成30年度までの生徒数減少への対応

平成24年度に策定した「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針[平成25年度～平成30年度]」に基づき、計画期間における東部地区の中学校卒業生数の減少に対応するため、中学生の志願状況、過去の学級減の状況、普通学科と専門学科の募集定員比率、他の高等学校との規模のバランス等を総合的に考慮し、鳥取工業高等学校理数工学科の募集を停止することを決定した。

なお、「基本方針」に基づき、西部地区の学級減についても検討を行ったが、中学生の志願状況等を考慮し、平成30年度の西部地区学級減は実施しないこととした。

<計画期間中(H25～H30)の学級減>

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	計
東部		鳥取東(普通) 青谷(総合)		鳥取西(普通)		鳥工 (理数工学)	4学級減
中部			倉吉西(普通)	倉総産(情報)			2学級減
西部		日野(総合)					1学級減
計		3学級減	1学級減	2学級減		1学級減	7学級減

<参考・「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針[平成25年度～平成30年度]」のポイント>

- ・原則として、平成30年度までは学校の再編成や学級の定員減は行わず、学級減で対応すること。
- ・平成25年度から平成30年度までに、8学級程度の学級減を行う必要がある。
- ・具体的な学級減の対象とする学校については、各地域の中学校卒業生数の状況、近年の入学者数、地域の産業の実情等を総合的に勘案しながら決定する。

(2)平成31年度以降の県立高等学校の在り方の検討

平成28年3月に策定した「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針[平成31年度～平成37年度]」に基づき、今後の本県高等学校教育を俯瞰しつつ、魅力と活力のある学校づくりに取り組むべく、各学校長との意見交換を実施するなど各学校の今後の方向性について検討を行った。

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

各学校の今後の方向性に当たっては、学校はもちろん、地域等との意見交換を実施するとともに、各教育委員の意見も参考とし、本県高等学校教育を俯瞰するという観点から検討を行った。

ウ 成果

特に喫緊の課題である小規模校の特色化・魅力化については、各学校や地域等との意見交換を重ねながら、検討を進め、以下のような具体的な方向性が確立されつつある。

①農林水産業プロフェッショナル人材の育成

・平成28年度から、農林水産業に関連する専門高校が地域の産業界や教育機関等と連携し、社会で求められる多様な知識・技術や、専門的な資質・能力を生徒に習得させ、6次産業化など地域産業の担い手としての意識や自覚を育み、もって地域に貢献する人材を育成する「県版SPH事業」に取り組んでいる。

※智頭農林高校、境港総合技術高校(平成28年度～)、倉吉農業高校(平成29年度～)

※関係機関と連携し、長期インターンシップ、農業先進地研修等を実施

・平成29年度からは、農林水産部とも連携して本県独自の認証制度「スーパー農林水産業士」を創設し、地域の若者を県内の農林水産分野での就業者として育成し、地域で就業できる環境づくりを図り、新規就業者の確保を推進。

②系列の変更などによる学校の特色化・魅力化【日野高等学校】

・高齢化社会に必要とされる介護・福祉に関する基本的な知識・技術を習得することなどを目的とした「ヒューマンケア系列」を新設(平成29年度入学生より)

・平成29年度入学生から、各系列において履修すべき科目数・単位数を拡大し、専門性を強化。

・総合進学系列の目的を具現化するため、同系列生徒を入寮させ、外部指導者等の指導により、進学に必要な学力の向上を図るシステムを検討。

エ 課題

今後も減少が予想される中学校卒業生数の状況や、入学者が募集定員に満たない学校があるという現状を県教育委員会として強く認識し、さらなる学級減など生徒数減少への対応を進めるとともに、学校や地域等との緊密な連携の下、今後の本県高等学校教育を俯瞰しつつ、魅力と活力のある学校づくりに全力で取り組んでいくことが必要である。

7 決算調書

一般会計(歳入)

(単位:円)

区分	科目	予算			現額		収入未済額 A-B-C	備考	
		当初予算額	補正予算額	計	継続費及び繰越事業費 繰越財源充当額	計			
歳入	教育使用料	1,410,139,000	△ 1,080,000	0	1,409,059,000	1,379,724,933	0	346,000	
	入試選抜諸費	5,620,000	0	0	5,620,000	5,604,605	0	0	
	教育手数料	2,883,000	0	0	2,883,000	2,408,750	0	0	
	上記以外	27,422,000	△ 1,426,000	0	25,996,000	26,758,975	0	0	
歳入	教育費国庫負担金	1,217,067,000	△ 1,931,000	0	1,215,136,000	1,156,165,093	0	0	
	教育費国庫補助金	(0)	(0)	(0)	(0)	(2,449,357)	(0)	(0)	
		22,222,000	△ 4,248,000	0	17,974,000	8,884,000	0	0	
	教育委託金	(0)	(0)	(3,398,000)	(3,398,000)	(0)	(0)	(0)	
		16,747,000	△ 1,516,000	0	15,231,000	13,886,016	0	0	
	生産物売払収入	4,871,000	△ 889,000	0	3,982,000	0	0	0	
	雑入	4,349,000	0	0	4,349,000	5,700,401	0	0	
	繰越金	(0)	(0)	(3,039,000)	(3,039,000)	(3,039,000)	(0)	(0)	
		0	0	0	0	0	0	0	
	合計	2,711,320,000	△ 11,090,000	0	2,700,230,000	2,599,132,773	0	346,000	

一般会計(歳出)

(単位:円)

区分	科目	予算			現額		決算額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	計	継続費及び繰越事業費 繰越額	継続費及び繰越事業費 支出及び 繰越増減	計	本庁			
歳出	教職員人事費	11,273,000	0	0	0	11,273,000	10,082,629	625	0	1,190,371	
	教育連絡調整費	1,326,982,000	7,322,000	0	0	1,334,304,000	1,282,778,575	1,213,015,454	0	51,525,425	
	教育振興費	(0)	(0)	(6,437,000)	(0)	(6,437,000)	(4,695,068)	(4,695,068)	(0)	(1,741,932)	
		279,926,000	△ 18,706,000	0	0	261,220,000	227,629,934	159,999,133	0	33,590,066	
	教育財産管理費	10,136,000	△ 1,484,000	0	0	8,652,000	0	0	8,065,000	587,000	
	合計	(0)	(0)	(6,437,000)	(0)	(6,437,000)	(4,695,068)	(4,695,068)	(0)	(1,741,932)	
出	合計	1,628,317,000	△ 12,868,000	0	0	1,615,449,000	1,520,491,138	1,373,015,212	8,065,000	86,892,862	

特別会計
該当なし

8 事業別実施状況調べ

(単位:円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
(教職員人事費) 教職員人事管理費 ※H29.4.1組織 改正により 教育人材開 発課へ移管	11,273,000	10,082,629	0	1,190,371	適切な学校管理・運営を期するため、管理主事による学校訪問等を行い、高等学校への指導を行った。 学校教育の充実と教育水準の向上に資するための教職員人事に努めた。 鳥取県教育委員会指導改善研修教員審査委員会を開催し、過去に認定解除された教員の状況、指導改善研修について協議した。
目 計	11,273,000	10,082,629	0	1,190,371	
(教育連絡調整費) (主) 小学校英語 パワーアップ事業 ～拠点小学校を中心とする英語教育 強化事業～ イングリッシュ シャワールーム設 置事業	16,985,000	16,984,107	0	893	主な事業に関する調べのとおり
とっとりイン グリッシュクラ ブ	1,189,000	909,061	0	279,939	県内中学校6校に、各1名ずつ外国人スタッフを配置し、生徒が日常的に英語に触れることのできる場所(イングリッシュシャワールーム)を設置して、生徒の英語によるコミュニケーション能力を高めた。(当初の計画通り7月で5校が事業終了、残る1校はH29.7月終了予定) ・給食や休憩時間の英会話 ・お昼の校内放送番組担当 ・ティームティーチング ・英語検定の面接練習 ・英語弁論指導 ・英語での交換日記 ・月1回通信を発行 ・外国の行事、イベントの紹介 ・英語の本や映画の紹介
とっとりイン グリッシュクラ ブ	13,661,000	10,068,094	0	3,592,906	県内中学校6校に、各1名ずつ外国人スタッフを配置し、生徒が日常的に英語に触れることのできる場所(イングリッシュシャワールーム)を設置して、生徒の英語によるコミュニケーション能力を高めた。(当初の計画通り7月で5校が事業終了、残る1校はH29.7月終了予定) ・給食や休憩時間の英会話 ・お昼の校内放送番組担当 ・ティームティーチング ・英語検定の面接練習 ・英語弁論指導 ・英語での交換日記 ・月1回通信を発行 ・外国の行事、イベントの紹介 ・英語の本や映画の紹介

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額																									
教職員派遣研修費	18,909,000	14,886,113	0	4,022,887	教職員の資質や指導力の向上を図るため、計画的な派遣により研鑽を積んだ。																									
					<table border="1"> <tr> <td>中央研修講座への派遣 各種研修会・講習会への派遣</td> <td colspan="4">指導主事及び現職教員を中央研修講座等に派遣することで、指導力の向上を図るとともに、各地区において中核となる人材の育成を図った。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">内地留学・新教育大学大学院等への派遣</td> <td>区分</td> <td>テーマ及び派遣先</td> <td>人数</td> <td>期間</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内地留学</td> <td>特別支援教育の充実 鳥取大学地域学部(1名)</td> <td>1人</td> <td>1年</td> </tr> <tr> <td>新教育大学大学院 兵庫教育大学大学院 (2年目1名、1年目1名) 島根大学大学院 (1年目2名)</td> <td>4人</td> <td>2年</td> </tr> <tr> <td>大学の知と連携した授業改革による学びの質の向上</td> <td>東京大学(4名)</td> <td>4人</td> <td>9日間</td> </tr> <tr> <td>教科等の指導力・専門性向上</td> <td>公益社団法人日本食品衛生協会</td> <td>1人</td> <td>2か月</td> </tr> </table>	中央研修講座への派遣 各種研修会・講習会への派遣	指導主事及び現職教員を中央研修講座等に派遣することで、指導力の向上を図るとともに、各地区において中核となる人材の育成を図った。				内地留学・新教育大学大学院等への派遣	区分	テーマ及び派遣先	人数	期間	内地留学	特別支援教育の充実 鳥取大学地域学部(1名)	1人	1年	新教育大学大学院 兵庫教育大学大学院 (2年目1名、1年目1名) 島根大学大学院 (1年目2名)	4人	2年	大学の知と連携した授業改革による学びの質の向上	東京大学(4名)	4人	9日間	教科等の指導力・専門性向上	公益社団法人日本食品衛生協会	1人	2か月
中央研修講座への派遣 各種研修会・講習会への派遣	指導主事及び現職教員を中央研修講座等に派遣することで、指導力の向上を図るとともに、各地区において中核となる人材の育成を図った。																													
内地留学・新教育大学大学院等への派遣	区分	テーマ及び派遣先	人数	期間																										
	内地留学	特別支援教育の充実 鳥取大学地域学部(1名)	1人	1年																										
		新教育大学大学院 兵庫教育大学大学院 (2年目1名、1年目1名) 島根大学大学院 (1年目2名)	4人	2年																										
	大学の知と連携した授業改革による学びの質の向上	東京大学(4名)	4人	9日間																										
	教科等の指導力・専門性向上	公益社団法人日本食品衛生協会	1人	2か月																										
県立学校第三者評価推進事業	1,450,000	1,245,099	0	204,901	県立学校8校で県教育委員会が委嘱した有識者による第三者評価を実施。H26年度から2巡目。 →各学校とも平成22年度の評価で指摘を受けた点は克服されていた。																									
(主) 高等学校改革推進事業	137,000	133,338	0	3,662	主な事業に関する調べのとおり																									
県立高校裁量予算学校独自事業 予算額及び決算額は教育環境課で計上					学校長が独自性を発揮した学校経営ができるよう、学校運営費、教職員旅費、学校独自事業の総額を一括して配分し、学校長裁量による予算執行を行った。 各学校の課題解決のための臨機な対応ができ、実施に当たっての費用対効果の検証、説明責任を果たすなど、学校の自主・自立に繋がっている。																									

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額																				
公立高等学校就学支援事業	1,226,460,000	1,183,169,801	0	43,290,199	保護者等の市町村民税所得割額の合計が30万2,400円未満の世帯について、就学支援金及び学び直し支援金の支給を行った。 【支給状況】 ・就学支援金 在籍者の約85%に支給 支給総額:1,174,825,619円 年度内の受給資格者数(実人数):10,518人 ・学び直し支援金 支給総額:440,798円 年度内の受給資格者数(実人数):37人 【不用額の理由】 予算要求に当たり、前年度5月現在の認定者割合を元に必要額を積算しているが、実際に入學し、認定した生徒数が見込より少なかったため、不用額が発生した。																				
高等学校教育企画費	49,893,000	49,778,357	0	114,643	県立高等学校に対して指導・助言を行うとともに、関係団体への助成を行った。																				
入学選抜諸費	5,620,000	5,604,605	0	15,395	平成29年度県立高等学校入学者等の選抜を実施した。 願書受付(一般) 29.2.21~2.23 入学者選抜検査(一般) 29.3.7~3.8 合格発表 29.3.15																				
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>課程</th> <th>定員</th> <th>志願者</th> <th>受験者</th> <th>合格者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全日制</td> <td>4,064</td> <td>4,330</td> <td>4,250</td> <td>3,768</td> </tr> <tr> <td>定時制</td> <td>220</td> <td>156</td> <td>153</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,284</td> <td>4,486</td> <td>4,403</td> <td>3,891</td> </tr> </tbody> </table>	課程	定員	志願者	受験者	合格者	全日制	4,064	4,330	4,250	3,768	定時制	220	156	153	123	計	4,284	4,486	4,403	3,891
課程	定員	志願者	受験者	合格者																					
全日制	4,064	4,330	4,250	3,768																					
定時制	220	156	153	123																					
計	4,284	4,486	4,403	3,891																					
目 計	1,334,304,000	1,282,778,575	0	51,525,425																					
(教育振興費) 主権者教育	1,000,000	731,172	0	268,828	選挙権年齢引き下げに伴い、高校生の選挙運動や政治的活動についての留意点を明示したチラシ・ポスターを作成し、各校へ配布した。 各校での主権者教育の取組を共有するため、主権者教育研修会を実施した。																				
(主) アクティブ・ラーニング推進事業~21世紀型能力を育む次世代授業の創造~	4,340,000	3,309,410	0	1,030,590	主な事業に関する調べのとおり																				

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
未来を拓く学力向上事業	9,244,000	5,863,267	0	3,380,733	<p>学校の枠を超えた連携を深め、教員同士が協働して教科指導力を向上させ授業改善を図るための取組や、切磋琢磨しながら進路実現に向けて果敢にチャレンジする生徒を育成するための取組を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エキスパート教員育成 参加教員数5人 →内1人をエキスパート教員に認定 ・学校連携チャレンジサポート事業（7校8事業） ・理数課題研究等発表会 参加生徒数40人 ・「科学の甲子園」鳥取県大会 参加生徒数65人 ・専門高校活動成果発表会 →2月開催 専門高校9校参加 場所：米子コンベンションセンター 専門高校の活動の成果を各学校間で共有し、各専門高校の教育活動の質を向上させるとともに、実社会で通用する生徒の表現力やコミュニケーション能力を育成。 <p>【不用額の理由】出納機関の令達執行残（主に役務費・使用賃借料）</p>
県立高校土曜授業等実施事業	6,000,000	4,180,368	0	1,819,632	<p>土曜日において、生徒にこれまで以上に豊かな教育環境を提供し、その成長を支えるため、土曜授業の実施に取り組むとともに、土曜日を活用して、学校と地域が連携した多様な学習や体験活動等の機会の充実に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点校1校で月に2回程度教育課程内で授業を実施 ・モデル校11校で学期に数回程度、希望する生徒を対象に学校と地域が連携した多様な学習や体験活動等の機会を設定 <p>【不用額の理由】出納機関執行残（主に報償費・使用賃借料）</p>
鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業	9,452,000	7,506,287	0	1,945,713	<p>海外留学（長期・短期）への支援、英語弁論大会の開催及び高校生14名程度を約1週間東・東南アジアへ派遣する事業等を実施し、世界に目を向けた将来展望を持った生徒を育成。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数 ・海外留学への支援 長期2名、短期10名 計12名 ・英語弁論大会10名 ・生徒派遣事業14名

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
英語教育強化推進事業	9,447,000	6,629,634	0	2,817,366	<p>○鳥取県英語教育推進会議 県の英語教育の施策について成果や課題の検証（年3回開催）</p> <p>○英語教育研修協力校支援研修 研修協力校の中学校と高等学校において授業研究会を開催し、域内の学校に公開</p> <p>○英語教員等の指導力向上 英語教育推進リーダー研修（小中高、それぞれ年3回） ALTの指導力向上研修</p> <p>○小中高等学校を通じた英語教育の推進 強化地域内の小中高等学校において授業研究会をそれぞれ2回ずつ行い、運営指導委員会を年3回開催</p> <p>○英語教育推進フォーラム 県内の学校の先進的な取組の発表と有識者による講演</p>
グローバル・リーダー育成事業	11,934,000	10,874,949	0	1,059,051	<p>将来様々な分野において国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成するため、国事業（※スーパーグローバルハイスクール）を活用し、指定高等学校が国内外の大学や企業、国際機関等と連携し、質の高いカリキュラムを開発・実践。</p> <p>※スーパーグローバルハイスクール 期 間：5年間（H27～H31） 指定校：鳥取西高等学校 内 容： ・課題研究 地域の課題をグローバルな視点で解決する探究型学習を実施</p> <p>・外国人教員の授業 グローバル課題に関する英語の授業を実施 7クラス×4時間</p> <p>・海外大学派遣研修 生徒14名をアデレード大学（豪）に派遣し、「地域の活性化」などのテーマについて、インタビューなどのフィールドワークとプレゼンテーションを実施</p>
外国語教育改善指導費	126,563,000	122,343,831	0	4,219,169	<p>語学指導を行う外国青年（ALT）を県立学校に配置した。 ・英語 24名 ・韓国語 2名</p> <p>英語担当教員の資質の向上を図るため英語圏の大学への2ヶ月派遣を実施 米 デンバー大学 1名</p>
(主)鳥取県版キャリア教育推進事業	14,133,000	8,997,592	0	5,135,408	<p>主な事業に関する調べのとおり 【不用額の理由】出納機関の令達執行残（主に報償費・特別旅費）</p>

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額																																																							
外部人材活用事業	6,150,000	5,075,880	0	1,074,120	<ul style="list-style-type: none"> 県立高校・大学教員交流事業 高等学校の生徒が大学教員の講義を受けることにより、学ぶことへの意欲の高揚を図るとともに、将来の進路目標に向かって学習する態度の育成に努めた。 																																																							
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施校</th> <th>のべ教員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取大学</td> <td>8校</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>鳥取環境大学</td> <td>5校</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実施校	のべ教員数	鳥取大学	8校	21名	鳥取環境大学	5校	10名																																														
区分	実施校	のべ教員数																																																										
鳥取大学	8校	21名																																																										
鳥取環境大学	5校	10名																																																										
キャリア発達支援事業	4,898,000	3,937,552	0	960,448	<ul style="list-style-type: none"> 社会人講師活用事業 生徒の興味・関心に応じた多様な教育を展開し、専門的な知識・技術を有する社会人講師として招へいした。 県立高校22校 福祉資格取得の促進 ・鳥取県ヘルプメイト資格の認定 → 認定者 5校 51名 ・介護職員初任者研修の支援 → 実施校 4校 職業教育技術顕彰の実施 → 299名の生徒を表彰 就職支援相談員の配置 → 17校17名 農業後継者のつどいへの助成 → 参加生徒 3校12名 県外先進地農家への派遣 → 派遣生徒 3校4名 																																																							
特例教育課程による地域研究事業 (教育研究開発事業)	1,855,000	1,367,651	0	487,349	<ul style="list-style-type: none"> 県立高校1校を文部科学省の研究開発学校に指定し、将来の地域を支える人材を育成するための地域に関することの教材化等、新しい教育課程の研究開発を行った。 期間：4年間（H25～28） 指定校：岩美高等学校 																																																							
定時制通信制教育振興費	1,489,000	539,902	0	949,098	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校の定時制・通信制課程に在籍する一定の要件を満たす生徒に対し、教科書・学習書を給与した。 【不用額の理由】執行残（主に通信教育添削に係る報償費） 																																																							
					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">定時制</th> <th colspan="3">通信制</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>冊数</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>冊数</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td></td> <td>人</td> <td>冊</td> <td>円</td> <td>人</td> <td>冊</td> <td>円</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取緑風</td> <td>5</td> <td>35</td> <td>28,747</td> <td>10</td> <td>37</td> <td>30,610</td> </tr> <tr> <td>倉吉東</td> <td>5</td> <td>43</td> <td>33,418</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>米子東</td> <td>5</td> <td>32</td> <td>22,060</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>米子白鳳</td> <td>3</td> <td>13</td> <td>11,539</td> <td>18</td> <td>120</td> <td>129,853</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>123</td> <td>95,764</td> <td>28</td> <td>157</td> <td>160,463</td> </tr> </tbody> </table>	区分	定時制			通信制			人数	冊数	金額	人数	冊数	金額		人	冊	円	人	冊	円	鳥取緑風	5	35	28,747	10	37	30,610	倉吉東	5	43	33,418				米子東	5	32	22,060				米子白鳳	3	13	11,539	18	120	129,853	計	18	123	95,764	28	157	160,463
区分	定時制			通信制																																																								
	人数	冊数	金額	人数	冊数	金額																																																						
	人	冊	円	人	冊	円																																																						
鳥取緑風	5	35	28,747	10	37	30,610																																																						
倉吉東	5	43	33,418																																																									
米子東	5	32	22,060																																																									
米子白鳳	3	13	11,539	18	120	129,853																																																						
計	18	123	95,764	28	157	160,463																																																						

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額												
中学校のための高等学校理解促進事業	1,000,000	904,824	0	95,176	中学生の高等学校に対する理解促進を図り、高校入学時のミスマッチの防止を図った。												
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進路指導資料「輝け！夢」の作成</td> <td>県内中学校の2年生全員に配布 7,100部</td> </tr> <tr> <td>中学生県立高校体験事業の実施(学校裁量予算で実施)</td> <td>県立高校体験入学または授業参観等 対象:中学生、保護者、中学校教員 時期:夏季休業中等において各高等学校が期間設定</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績	進路指導資料「輝け！夢」の作成	県内中学校の2年生全員に配布 7,100部	中学生県立高校体験事業の実施(学校裁量予算で実施)	県立高校体験入学または授業参観等 対象:中学生、保護者、中学校教員 時期:夏季休業中等において各高等学校が期間設定						
区分	実績																
進路指導資料「輝け！夢」の作成	県内中学校の2年生全員に配布 7,100部																
中学生県立高校体験事業の実施(学校裁量予算で実施)	県立高校体験入学または授業参観等 対象:中学生、保護者、中学校教員 時期:夏季休業中等において各高等学校が期間設定																
文化芸術活動支援事業	25,375,000	23,437,778	0	1,937,222	高等学校文化部に対して支援を行うことで、文化部活動を活性化し、文化芸術活動に対する機運を高めるとともに、近畿高等学校総合文化祭の成果を維持・継続すべく、日々の部活動の環境を整えた。												
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部指導者招へい事業(学校裁量予算で実施)</td> <td>文化部活動において校外の社会人に指導を受けた。</td> </tr> <tr> <td>合同練習会等支援事業</td> <td>全国高等学校総合文化祭広島大会に合同で出場する部門が、一同に集まって練習した。</td> </tr> <tr> <td>備品整備事業</td> <td>トランペット、バスクラリネット、テナーサクソフォン、風炉、デジタルカメラ等、日常の活動に必要な備品を整備した。</td> </tr> <tr> <td>県高等学校文化連盟への助成</td> <td>ア 全国高等学校総合文化祭(広島)派遣費補助 イ 近畿高等学校総合文化祭(兵庫)派遣費補助 ウ 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助</td> </tr> <tr> <td>文化部パワーアップ事業</td> <td>平成27年度に開催した「近畿高等学校総合文化祭鳥取大会」の成果を維持・継続し、文化部活動のレベルアップを図るため、県高等学校文化連盟に経費を補助した。 ・県外の優秀指導者による生徒への指導や合同練習会 ・全国水準の指導者研修への派遣</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績	外部指導者招へい事業(学校裁量予算で実施)	文化部活動において校外の社会人に指導を受けた。	合同練習会等支援事業	全国高等学校総合文化祭広島大会に合同で出場する部門が、一同に集まって練習した。	備品整備事業	トランペット、バスクラリネット、テナーサクソフォン、風炉、デジタルカメラ等、日常の活動に必要な備品を整備した。	県高等学校文化連盟への助成	ア 全国高等学校総合文化祭(広島)派遣費補助 イ 近畿高等学校総合文化祭(兵庫)派遣費補助 ウ 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助	文化部パワーアップ事業	平成27年度に開催した「近畿高等学校総合文化祭鳥取大会」の成果を維持・継続し、文化部活動のレベルアップを図るため、県高等学校文化連盟に経費を補助した。 ・県外の優秀指導者による生徒への指導や合同練習会 ・全国水準の指導者研修への派遣
区分	実績																
外部指導者招へい事業(学校裁量予算で実施)	文化部活動において校外の社会人に指導を受けた。																
合同練習会等支援事業	全国高等学校総合文化祭広島大会に合同で出場する部門が、一同に集まって練習した。																
備品整備事業	トランペット、バスクラリネット、テナーサクソフォン、風炉、デジタルカメラ等、日常の活動に必要な備品を整備した。																
県高等学校文化連盟への助成	ア 全国高等学校総合文化祭(広島)派遣費補助 イ 近畿高等学校総合文化祭(兵庫)派遣費補助 ウ 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助																
文化部パワーアップ事業	平成27年度に開催した「近畿高等学校総合文化祭鳥取大会」の成果を維持・継続し、文化部活動のレベルアップを図るため、県高等学校文化連盟に経費を補助した。 ・県外の優秀指導者による生徒への指導や合同練習会 ・全国水準の指導者研修への派遣																

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
まんが・メディア 芸術活動事業	5,498,000	3,562,511	0	1,935,489	高校生「まんが王国とっとり」応援団の活動成果の維持・発展を目指し、平成27年度の近畿高等学校総合文化祭鳥取大会のまんが部門開催を契機に設置した「まんが専門部」の活動を支援した。参加・体験型講習会や、韓国の高中生との交流を通じて、まんがを描く力や創作意欲等の向上につながった。 【不用額の理由】 補助金の執行残（コーディネーター人件費（任用期間の短縮）、事業に係るバス代の減額）

区分	実績
まんが制作力向上ワークショップ	平成28年7月25日(月) プロによるまんが講習会 参加生徒数 12名 平成28年8月10日(水) デジタルイラスト漫画講座 参加生徒数 19名 平成28年10月22日(土) 写生大会 参加生徒数 16名
高校生まんが展	平成29年1月20日(金)～24日(火) 米子市美術館にて 県内参加生徒数 33名 韓国江原アニメーション高校作品 10名×3枚
まんが甲子園参加支援	平成28年8月6日(土)～8月7日(日) まんが甲子園視察 視察生徒 2名 (予選落ちしたため)
韓国高校生との交流	平成28年12月17日(土)～18日(日) 作品集制作や観光等 県内参加生徒 延べ22名 韓国江原アニメーション高等学校生徒 10名
高文連へのコーディネーター1名の配置	まんが制作力向上ワークショップや韓国高校生との交流等、企画運営・関係機関との連絡調整を行った。

未来につなぐ高校 生活支援事業	8,467,000	7,384,900	0	1,082,100	高校生等の学校生活を支援するための取組を実施した。
--------------------	-----------	-----------	---	-----------	---------------------------

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額															
未来につなぐ高校生活支援事業つづき	区分		実績																	
	とっとり夢プロジェクト事業	創造力とチャレンジ精神を持った高校生の主体的な企画・活動を支援した。 ・「TEDx youth@Tottori～Takin' off～」(米子東高校)、「高校生の科学研究コンテストで世界ーを目指す！」(米子工業高等専門学校)、2プロジェクトを採択した。																		
	いじめ問題支援事業	全県立高校で心理検査hyper-QUを実施し、生徒及び生徒の所属する集団の状況を把握して、適切な支援策を講じる資料とした。 県立高校24校の1・2年生徒対象に各校2回実施(2年生は1回、定時制は1～3年生) ・教員を対象に、心理検査hyper-QUの結果の分析や活用に関する研修を実施。参加教員数 29人																		
	高校生マナーアップ推進事業	<p>高校生の社会の一員としての自覚を高め、規範意識の向上を図るため、あいさつ運動等を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施期間</th> <th>参加人数</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>H28.4.12～4.15</td> <td>約5,400人</td> <td>①JR主要駅前での挨拶運動・マナーアップ呼びかけ ②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>H28.9.6～9.9</td> <td>約5,500人</td> <td>③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td colspan="3">各学校ごとの取組に変更</td> </tr> </tbody> </table>				区分	実施期間	参加人数	活動内容	第1回	H28.4.12～4.15	約5,400人	①JR主要駅前での挨拶運動・マナーアップ呼びかけ ②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導	第2回	H28.9.6～9.9	約5,500人	③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動	第3回	各学校ごとの取組に変更	
区分	実施期間	参加人数	活動内容																	
第1回	H28.4.12～4.15	約5,400人	①JR主要駅前での挨拶運動・マナーアップ呼びかけ ②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導																	
第2回	H28.9.6～9.9	約5,500人	③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動																	
第3回	各学校ごとの取組に変更																			
(主) 自己理解・他者理解アプローチ事業	4,937,000	2,293,742	0	2,643,258	主な事業に関する調べのとおり 【不用額の理由】 出納機関の令達執行残 (主に報償費・特別旅費)															
タブレット端末de授業改革推進事業	670,000	635,256	0	34,744	モデル校1校(智頭農林高校)を指定し、学校独自で設定した基礎科目の授業において小中学校の学力を補うために、学習の一部をデジタル化し、独自作成問題をタブレット型端末のアプリケーションソフトに載せ、生徒の学習レベルにあった問題を教材に用いての振り返り学習を実施した。															

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額
(主) グローバル リーダーズキャン パス	8,768,000	8,053,428	0	714,572	主な事業に関する調べのとおり
(明許) とっとり農林水産 人材育成システム 推進事業(県版S PH事業)	6,437,000	4,695,068	0	1,741,932	地域で活躍できる人材育成に向けて、智頭農林高校(林業)、境港総合技術高校(水産業)の2校を県版SPH事業の対象校として指定し、地域の産業界や教育機関等と連携した取組を行った。
目 計	267,657,000	232,325,002	0	35,331,998	
(教育財産管理費) 倉吉農業高等学校 演習林活用事業	8,652,000	0	8,065,000	587,000	森林経営計画(間伐の計画)変更 に不測の時間を要し現地施行が遅 れ、また、施行地の地盤が軟弱土 壌であり間伐材を搬出するための 作業道の作設に不測の時間を要し たことから、平成28年度内の事 業完成が困難となったため、委託 に係る部分を次年度に繰り越し た。
目 計	8,652,000	0	8,065,000	587,000	
合 計	1,621,886,000	1,525,186,206	8,065,000	88,634,794	

9 予備費の充用調べ
該当なし

10 繰越関係調べ
(1) 継続費通次繰越調べ
該当なし

(2) 繰越明許費調べ

(単位:円)

科目	事業名	金額	翌年度繰越額	既収入特定財源	左の財源内訳			繰越理由
					国庫支出金	未収入特定財源		
						その他	一般財源	
教育財産 管理費	倉吉農業高等学校 演習林活用事業	8,652,000	8,065,000	0	2,805,000	3,982,000	1,278,000	森林経営計画(間伐の計画)変更により不測の時間 を要し現地施行が遅れ、また、施行地の地 盤が軟弱土壌であり間伐材を搬出するため の作業道の作設により不測の時間を要したことか ら、平成28年度内の事業完成が困難となっ たため。
合 計		8,652,000	8,065,000	0	2,805,000	3,982,000	1,278,000	

(3) 事故繰越調べ
該当なし

11 収入証紙取扱額調べ

(単位:円)

収入科目		件数	単価	証紙はりつけ額	備考
目	節				
教育手数料	全日制高等学校入学料	3,365	5,550	18,675,650	
	定時制高等学校入学料	124	2,050	254,200	
	通信教育入学料	36	480	17,280	
	入学選抜手数料	1,947		4,221,000	
	証明書発行手数料	1,227		516,950	
	計(節)		6,699		23,685,080
本庁執行分計(目)		6,699		23,685,080	
出納機関執行分計(目)				0	
目計				23,685,080	
合計				23,685,080	

12 収入事務処理状況調べ
 (1) 分担金及び負担金
 該当なし

(2) 使用料

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
	本庁執行分計(目)			0	0	0	0		
教育使用料	授業料	高等学校全日制授業料		1,367,588,550	1,367,242,550	0	346,000	鳥取県立高等学校授業料等徴収条例	収入未済額内訳(鳥取湖陵高) 過年度調定分 346,000円
		定時制高等学校授業料		10,953,900	10,953,900	0	0		鳥取緑風高、倉吉東高、米子東高、米子白鳳高
		通信教育受講料		1,109,493	1,109,493	0	0		鳥取緑風高、米子白鳳高
		高等学校授業聴講料		72,990	72,990	0	0		鳥取緑風高、米子白鳳高
	出納機関執行分計(目)			1,379,724,933	1,379,378,933	0	346,000		
	目 計			1,379,724,933	1,379,378,933	0	346,000		
	合 計			1,379,724,933	1,379,378,933	0	346,000		

(3) 手数料

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	入節	目 細節							
教育手数料	教育手数料	全日制高等学校入学料	3,365	18,675,650	18,675,650	0	0		
		定時制高等学校入学料	124	254,200	254,200	0	0	鳥取県立高等学校 授業料等徴収条例	
		通信教育入学料	36	17,280	17,280	0	0		
		入学選抜手数料	1,947	4,221,000	4,221,000	0	0		
		証明書発行手数料	1,233	520,850	520,850	0	0	鳥取県手数料徴収条 例	
本庁執行分計(目)			6,705	23,688,980	23,688,980	0	0		
教育手数料	教育手数料	全日制高等学校入学料	696	3,862,900	3,862,900	0	0		各県立高校
		定時制高等学校入学料	35	71,750	71,750	0	0	鳥取県立高等学校 授業料等徴収条例	
		通信教育入学料	25	12,000	12,000	0	0		
		入学選抜手数料	2,448	5,248,800	5,248,800	0	0		
		証明書発行手数料	4,495	1,887,900	1,887,900	0	0	鳥取県手数料徴収条 例	
出納機関執行分計(目)			7,699	11,083,350	11,083,350	0	0		
目 計			14,404	34,772,330	34,772,330	0	0		
合 計			14,404	34,772,330	34,772,330	0	0		

(4) 財産収入
該当なし(5) 寄付金
該当なし

(6) 諸収入

(単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
目	節							
雑入	非常勤職員等雇用保険料	121	117,849	117,849	0	0		
	世界で学ぶ! 高校生海外体験推進事業に係る参加負担金	22	2,676,784	2,676,784	0	0		
	科学の甲子園鳥取県代表選考に係る経費	1	205,531	205,531	0	0		
	イングリッシュチャールーム 外国語指導助手数金返金分	1	125,000	125,000	0	0		
本庁執行分計(雑入)		145	3,125,164	3,125,164	0	0		
雑入	非常勤職員等雇用保険料本人負担分		1,077,390	1,077,390	0	0		各県立高校
	過年度非常勤職員報酬等過払分		23,951	23,951	0	0		鳥取東高校
	外国語指導助手数金返納分		131,000	131,000	0	0		八頭高校
	アデレード大学研修参加生徒自己負担分		1,117,662	1,117,662	0	0		鳥取西高校
	過年度児童手当返納		225,000	225,000	0	0		倉吉総合産業高校
	個人情報開示に係る費用		234	234	0	0		鳥取東高校
出納機関執行分計(雑入)			2,575,237	2,575,237	0	0		
目計			5,700,401	5,700,401	0	0		
合計			5,700,401	5,700,401	0	0		

(7) 現金の取扱状況
 ア 現金取扱状況

(単位:円)

収入科目(節)	収入金額	備考
教育手数料	3,900	証明書発行手数料
合計	3,900 (6件)	

イ つり銭の状況
 該当なし

13 税外収入未済額調べ

(単位:円)

収入科目	区分	過年度						年度分			現年度分			収入未済額計(A+B)	未収理由
		前年度 以前から の繰越額	左のうち 収入済額	不納 欠損額	差引収入 未済額(A)	収入未済額の調定年度内訳			調定額	収入済額	収入未済額 (B)				
						25年度 以前	26年度	27年度							
本庁執行分(教育使用料)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
教育手数料	教育手数料全日授業料	354,000	8,000	0	346,000	346,000	0	0	0	0	0	0	346,000	滞納	
出納機関執行分計(目)		354,000	8,000	0	346,000	346,000	0	0	0	0	0	0	346,000		
目計		354,000	8,000	0	346,000	346,000	0	0	0	0	0	0	346,000		
合計		354,000	8,000	0	346,000	346,000	0	0	0	0	0	0	346,000		

14 未収金回収促進のための取組状況調べ

該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ

該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

(単位：円)

事業名	種別	設定状況			当該事業の 契約額等	設定年度 の執行額 A	執行(支出)状況				合 計 A+B	備考
		議決 (補正・当初の別) 平成24年 3月当初	期間	限度額			27年度までの 執行額	債務負担行為の期間 29年度以降の 執行予定額	計			
									28年度執行額	B		
平成24年度県立学校勤務時間管理サポートシステム賃借料	借上料		25年度から 29年度まで	4,464,000	4,840,092	484,092	2,904,552	968,184	483,264	4,356,000	4,840,092	H29.4.1より教 育人材開発課 へ移管
平成25年度県立学校勤務時間管理サポートシステム賃借料	借上料		26年度から 30年度まで	4,087,000	4,319,280	575,904	1,727,712	863,856	1,151,808	3,743,376	4,319,280	H29.4.1より教 育人材開発課 へ移管
平成26年度県立学校勤務時間管理サポート賃借料	借上料		27年度から 31年度まで	4,585,000	3,985,200	531,360	797,040	797,040	1,859,760	3,453,840	3,985,200	H29.4.1より教 育人材開発課 へ移管
平成26年度岩手県高等学校タブレット端末等賃借料	借上料		27年度から 28年度まで	3,624,000	2,004,480	345,600	829,440	829,440	0	1,658,880	2,004,480	出納機関で執 行
平成26年度鳥取県高等学校タブレット端末賃借料	借上料		27年度から 29年度まで	5,102,000	5,489,532	1,067,409	1,829,844	762,435	1,829,844	4,422,123	5,489,532	出納機関で執 行
合 計				21,862,000	20,638,584	3,004,365	8,088,588	4,220,955	5,324,676	17,634,219	20,638,584	

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1)負担金

(単位:円)

予算科目(目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等(規約、要領等を含む。)	備考
教育連絡調整費							0		
新規以外のもの							3,426,580		大学授業料、外国青年負担金等
本庁執行分計							3,426,580		
出納機関執行分計							1,176,249,332		各県立高校(就学支援金)、幹事校等19校(全国校長協会等負担金)
目計							1,179,675,912		
教育振興費	8,700,000	単 県	スタンフォード大学遠隔講座受講に係る負担金	リーランド・スタンフォード・ジュニア大学管財委員会	定額	H28.7.12 H28.7.15	8,700,000 △ 1,132,090	同意書	文書ID:16-00046260
新規以外のもの							3,682,518		外国青年負担金等
本庁執行分計							11,250,428		
出納機関執行分計							626,664		
目計							11,877,092		
合計							1,191,553,004		

(2)補助金

予算科目(教育連絡調整費)

① 国 補 分
該当なし

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の 名 称 (補助金等の創設年度)	交 付 先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手年 月 日	額の確定 年 月 日	支 出 の 状 況		備 考	
				交付申請 年 月 日	完了年月 日	検 査 年 月 日	概算 払精 算払 の別	支出年月日		金 額
鳥取県高等学校 家庭クラブ 連盟補助金 (H11年度)	鳥取県高等学校 家庭クラブ連盟 成人代表(米子 南高等学校長)		996,398	28.4.26	-	29.3.16	概算	28.6.13	1,000,000	文書ID:16-00166750 家庭クラブ活動を行う生徒に家庭生活の重要性を認識させ、将来の良き家庭設計者としての素地を育成するため。 引続継続
				28.5.6	-		戻入	29.3.23	△ 3,602	
			(補助率:定額)	996,398	28.5.20	29.2.27	29.3.9			
各種研究会等の 開催、全国大会参加経費の助成、機関誌の発行。										
鳥取県学校農業 クラブ連盟 補助金(H11年度)	鳥取県学校農業 クラブ連盟成人 代表(智頭農林 高等学校長)		730,484	28.4.26	-	29.5.9	概算	28.7.1	559,000	文書ID:17-00028983 農業クラブ活動を行う生徒に農業の重要性を認識させ、将来の良き農業経営者としての素地を育成するため。 引続継続
				28.5.10	-					
			(補助率:定額)	559,000	28.5.17	29.3.31	29.5.8			
各種競技会・発表 会の開催、会報の 発行、全国大会参加経費の助成										
本庁執行分計								1,555,398		
出納機関執行分計								0		
単 県 分 計								1,555,398		
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。									

予算科目(教育振興費)

① 国 補 分
該当なし

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間 接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日	着手年 月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考	
				交付申請 年月日	完了年月 日	検 査 年月日	概算 払精 算払 の別	支出年月日		金 額
事業の内容				交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
とっとり夢プロジェクト事業補助金(H26年度) 高校生が企画した活動に係る経費の補助	個人(1名) (米子東高等学校)		0	28.8.1	-	-	概算	28.9.21	318,430	文書ID:16-00184638 H29.3.31事業中止 高校生が自由な発想で企画した活動を支援し、生徒の自主性・個性の伸長や学校・地域の活性化につなげるため。 引続継続
			(28.8.24)	-	-	戻入	29.4.21	△ 318,430		
			(補助率:定額) 0	29.3.14	-	-				
				(28.9.1)	-	-				
				29.3.31	-	-				
とっとり夢プロジェクト事業補助金(H26年度) 高校生が企画した活動に係る経費の補助	個人(1名) (米子工業高等学校)		1,000,000	28.8.1	-	29.4.12	概算	28.9.21	1,000,000	文書ID:17-00007788 高校生が自由な発想で企画した活動を支援し、生徒の自主性・個性の伸長や学校・地域の活性化につなげるため。 引続継続
			(補助率:定額)	28.8.10	-	-				
			1,000,000	28.9.1	29.3.31	29.4.11				
鳥取県高等学校定時制通信制教育振興会補助金(H11年度) 生徒研修活動、表彰、会員研修、会議費、記念誌発行等	鳥取県高等学校定時制通信制教育振興会会長 (鳥取緑風高等学校校長)		229,590	28.4.26	-	29.3.16	概算	28.7.1	170,000	文書ID:16-00166422 定時制通信制高等学校の生徒が、各種大会や研修会に参加することにより、生徒の学習意欲を高めるため。 引続継続
			(補助率:補助対象経費の1/2以下) 114,795	28.4.28	-	-	戻入	29.3.22	△ 55,205	
				28.5.10	29.3.9	29.3.9				
鳥取県高等学校文化連盟補助金(H11年度) 全国高総文祭・近畿高総文祭への派遣、県高総文祭の開催	鳥取県高等学校文化連盟会長 (倉吉東高等学校校長)		22,002,749	28.3.22	-	29.4.25	概算	28.5.23	9,998,000	文書ID:17-00017666
			(補助率:定額)	28.4.14	-	-	"	28.7.5	12,115,000	
			19,068,691	28.4.25	29.3.31	29.4.18	"	28.11.2	9,151,000	
							戻入	29.5.8	△ 12,195,309	
鳥取県高校生海外留学支援補助金(H24年度) 海外留学経費の補助	個人(2名)		2,200,526	-	-	29.5.24	概算	28.12.19	600,000	文書ID:17-00041984
			(補助率:定額) 600,000	28.6.29 外	-	-				
				28.12.2 外	29.3.25 外	29.5.16 外				
鳥取県高校生海外体験支援補助金(H24年度)	個人(10名)		4,786,961	-	-	28.11.4 外	概算	28.9.9 外	1,972,971	文書ID:16-00098594 16-00164005 17-00042270 17-00043267 17-00044599
			(補助率:定額) 1,963,500	28.5.24 外	-	-				
				28.8.8 外	28.9.28 外	28.10.18 外	戻入	29.4.3 外	△ 9,471	
本庁執行分計								22,746,986		
出納機関執行分計								0		
単 県 分 計								22,746,986		

表の補足説明 1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。
2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。

(2-2) 補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)
該当なし

(3) 交付金
該当なし

(4) 委託料

予算科目 (目)	国 補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			完了		支出の状況		備考	
				予定価格	変更契約(最終) (契約年月日) 契約額	契約期間	入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	契約形態	支出区分	支出年月日		金額
教職員人事費	単 県	鳥取県立学校時間 外業務管理システム 運用管理業務	(株)鳥取県情 報センター	872,424	(H28.4.1) 872,424	28.4.1 29.3.31	(28.3.28) 免除	精算	29.5.8	872,424	文書ID:17-00015961 システムの開発者及び著作権 者であり、システム内容を熟知 している者であるため。 H29.4.1より教育人材開発課へ 移管	
					()	~	随					
		鳥取県立学校休暇 等申請・承認システ ム運用管理業務	(株)鳥取県情 報センター	872,424	(H28.4.1) 872,424	28.4.1 29.3.31	(28.3.28) 免除	精算	29.5.8	872,424	文書ID:17-00015961 システムの開発者及び著作権 者であり、システム内容を熟知 している者であるため。 H29.4.1より教育人材開発課へ 移管	
					()	~	随					
		鳥取県立学校校外 勤務等管理システム 運用管理業務	(株)鳥取県情 報センター	654,264	(H28.4.1) 654,264	28.4.1 29.3.31	(28.3.28) 免除	精算	29.5.8	654,264	文書ID:17-00015961 システムの開発者及び著作権 者であり、システム内容を熟知 している者であるため。 H29.4.1より教育人材開発課へ 移管	
					()	~	随					
		県立学校勤務時間 管理サポートシステ ム運用管理業務等	(株)鳥取県情 報センター	1,834,056	(H28.4.1) 1,834,056	28.4.1 29.3.31	(28.3.28) 免除	精算	29.5.8	1,834,056	文書ID:17-00015961 システムの開発者及び著作権 者であり、システム内容を熟知 している者であるため。 H29.4.1より教育人材開発課へ 移管	
					()	~	随					
予定価格が50万 円未満のもの										457,218		
本庁執行分計										4,690,386		
出納機關執行分計										0		
目計										4,690,386		

(単位:円)

予算科目 (目)	国 補 単 項 の 別	委託料の名称	委託契約の相手方	当初契約		入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況		備考
				予定価格	契約年月日 契約額			支出 年月日	金額	
教育連絡調整費	単項	鳥取県立高等学校授業料等徴収システム運用・保守業務	(株)鳥取県情報センター	3,231,036	(H28.4.1) 3,231,036	(28.3.24) 免除	29.3.31	精算	3,231,036	文書ID:16-00185123 財務会計システムで収納の記録管理を行う必要があり、財務会計システムの所有者で本システムの開発者であるため。
	単項	高等学校授業料等徴収システムマイグレーション業務	(株)鳥取県情報センター	7,320,672	(H29.2.7) 6,944,184	(29.1.20) 29.2.6	29.3.24	精算	6,944,184	文書ID:16-00181647 財務会計システムで収納の記録管理を行う必要があり、財務会計システムの所有者で本システムの開発者であるため。
	国補	就学支援金認定申請書等確認事務に係る派遣業務	テルウェル西日本株式会社	1時間あたり 1,512円	(H28.4.1) 1時間あたり 1,350円	(28.3.14) 免除	29.3.31	精算	711,450 589,935 1,253,691 639,900 501,402	文書ID:15-00175949
教育振興費	国補	鳥取県中学校英語指導法研修	フリティツシユ・カウンシル	704,000	(H28.9.12) 649,720	(28.8.22) 免除	28.11.16	精算	649,720	文書ID:16-00077940
	単項	世界で学ぶ！高校生海外体験推進事業海外派遣	(株)日ノ丸観光トラベル	5,100,000	(H29.2.7) 200,500円/人 248,000円/人 (H29.3.24) 203,400円/人 250,900円/人	(29.1.23) 免除	29.3.11	精算	3,617,352	文書ID:16-00182710 参加人数:高校生14名 引率 2名
	単項	「いじめ問題対策事業」に係るhyper-QU実施業務	(株)図書文化社	6,463,600 (520円/人)	(H28.4.27) 520円/人	見積書省略(免除)	28.7.28 29.2.20	精算	3,812,120	文書ID:16-00074254 16-00181302 hyper-QUを実施できるのは(株)図書文化社のため
予定価格が50万円未満のもの 本庁執行分計 出納機関執行分計 目計									432,960 14,304,558 0 14,304,558	
予定価格が50万円未満のもの 本庁執行分計 出納機関執行分計 目計 合計									649,720 3,617,352 3,812,120 2,447,640 490,434 11,017,266 4,329,543 15,346,809 34,341,753	

(4-2)委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

(単位:円)

予算科目 (目)	国 補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	予定価格	当初契約		入札等 年月日 (契約保証 金納付等 年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況		備考	
					契約年月日 (契約額 変更契約(最終) 契約年月日)	契約期間			支出 区分	支出 年月日		金額
高等学校総務費												
予定価格が50万円 未満のもの										0		
本庁執行分計										0		
出納機関執行分計										1,116,860	学校医委託 岩美高、倉吉農 業高、倉吉総合 産業高、日野高	
目計										1,116,860		
合計										1,116,860		

18 工事請負費調べ

該当なし

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

該当なし

19 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

ウ 山林

該当なし

エ 不動産売却

該当なし

オ 財産の交換

該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

キ 物権

該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)

該当なし

ケ 有価証券

該当なし

コ 出資による権利

該当なし

(2) 金券類の受払状況
ア 金券の受払状況

(平成29年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び 郵便はがき	円 9,854	円 61,592	円 60,334	円 11,112	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バス プリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	9,854	61,592	60,334	11,112	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成29年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末	備 考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
27 枚	0 枚	19 枚 17,050円	8 枚	

(3) 基金
該当なし

(4) 債 権

(平成29年3月31日現在)

債権の名称	前年度末現在高		本年度中				本年度末現在高		備考
	金額	件数	増		減		金額	件数	
			金額	件数	金額	件数			
外国語指導助手 の宿舎借り上げ に係る敷金		円		円		円		円	
	141,000	1					141,000	1	鳥取東高校
	147,000	1	147,000	1			294,000	2	鳥取西高校
	147,000	1					147,000	1	鳥取商業高校
	110,000	1					110,000	1	鳥取工業高校
	147,000	1					147,000	1	鳥取湖陵高校
	147,000	1					147,000	1	青谷高校
	156,000	1					156,000	1	岩美高校
	294,000	2			147,000	1	147,000	1	八頭高校
	160,000	2					160,000	2	米子東高校
	53,000	1					53,000	1	米子西高校
	104,000	1					104,000	1	米子高校
	61,000	1					61,000	1	米子工業高校
	172,000	2					172,000	2	境高校
	118,000	1					118,000	1	日野高校
	141,000	1			141,000	1	0	0	鳥取北中学校
	100,000	1					100,000	1	境第二中学校
	100,000	1					100,000	1	境第三中学校→外江小学校
			150,000	1			150,000	1	青谷小学校
			84,000	1			84,000	1	福部小学校
合 計	2,298,000	20	381,000	3	288,000	2	2,391,000	21	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地
該当なし

イ 建物
該当なし

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄付受納時の評価額が100万円以上のもの)
該当なし

21 借受不動産明細調べ

該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

ア 管理状況
該当なし

イ 異動状況
該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況
該当なし

イ 異動状況
(行政・普通財産)
該当なし

23 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

該当なし

24 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

25 備品の処分状況調べ
該当なし

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成28年5月20日	・ 有 <input checked="" type="radio"/> 無		

27 貸付金等状況調べ
(1) 総括表
該当なし

(2) 償還状況
該当なし

28 職員旅費の執行状況調べ

(1) 旅行同の事前承認

旅行総件数	旅費システムで 発令日が発日 より遅い件数 ①	①のうち履歴で 事前承認が確認 できた件数 ②	①のうち②以外で 緊急等特別な理由 があった件数 ③	特別な理由もなく 事前承認がされ ない件数 (①-②-③)	備 考
358	38	1	23	14	・事前申請していたが、決裁権者の出張等により承認が遅れたもの14件

(2) 旅費概算払の精算等

ア 概算払の精算が旅行完了日の翌日から2週間以上経過しているもの(零精算を除く) (0 件中 0 件)

イ 精算払が旅行完了日の翌日から30日以上経過しているもの (358 件中 33 件)

(3) 旅費の計算

用 務 先	旅 行 期 間	用 務 内 容	支 出 金 額	備 考
神戸市内	H29.1.29~H29.2.2	高等学校教科担当者連絡協議会	67,520	
文部科学省	H29.3.22~H29.3.23	平成28年度第2回高校における通級による指導に関する研修会	52,504	
山口県教育委員会、山口高校、徳山高校	H28.12.15~H28.12.16	進学重視型単位制導入についての視察	41,010	
名古屋大学	H28.12.18~H28.12.19	生徒指導に係る大学教授訪問	40,224	
文部科学省	H29.2.9~H29.2.10	国立教育政策研究所指定事業研究協議会	37,000	

(4) 旅費の適正執行の取組状況等

概算払・精算払のいずれの旅行の場合も、旅費の復命の遅れが見られる場合には、適宜該当者へ声かけをしたり、メールで課職員へ処理を促したりしている。出張については、事前申請を原則とするよう年度当初の課会等で周知している。

○ 意見、要望等

(1)業務に関する要望等
該当なし

(2)監査委員事務局に対する意見・要望等
該当なし